

中学部第2学年 生活単元学習（進路学習）学習指導案

日 時:令和3年1月12日(金) 10:35~11:50
場 所: 中学部2年3組教室
生 徒: 男子6名、女子2名、計8名
指導者: 熊谷理香子 (T1)、藤井優香 (T2)

1 単元名

いろいろな仕事を知らう

2 生徒と単元

(1) 生徒について

8名(男子6名、女子2名)のグループである。中学部卒業後は本校高等部進学を希望しており、総合サービス科受検を考えている生徒もいる。将来就きたい仕事について具体的なイメージをまだもっていないが、全員が働きたいという希望をもっている。知っている仕事について尋ねると、自分の家族が従事している仕事、スーパーや病院等見たことのある仕事が挙げられた。

生徒の多くは、自己肯定感が低く、自信がもてないことから、学習に対する意欲が低かったり、自分の考えを発言することに苦手意識をもっていたりする。また、苦手な面や失敗を周囲に知られたくないために活動に消極的になりがちな生徒もいる。これまでの学習の様子から、グループなど集団での活動を取り入れることで、考えたり、発言したりしやすくなる傾向にある。また、ロールプレイやクイズ形式など体験的な活動を取り入れることで、活動への意欲が高まり、他者に目を向ける場面が増えてきている。

(2) 単元設定理由

前単元までは、自己理解につながるように、自分の好きなことや長所、将来の夢を考えて伝える学習を行った。また、前期作業学習週間と関連付けながら、働くために大切なことや今後の生活に必要なことについて考えを出し合う学習も行った。これまでの学習を通して、将来は働きたい、一人暮らしをしたいなどの希望をもち、どのような仕事があるのか、どのような暮らし方があるのか知りたいと話す生徒が複数いた。

本単元では、今後の本校高等部卒業生の進路先を具体的に知る学習の前に、世の中には多くの仕事があることを知り、様々な仕事に興味をもったり、将来の生活を考えたりするきっかけにしたいと考えた。その際、社会の中で実際に働いている人を見たり、働いている様子を聞いたりする体験的な活動を取り入れることで、仕事に対するイメージがより具体的になり、心に残りやすく、気付きや問いを発しやすくなるのではないかと考える。さらに、友達と調べたり、答えを見付け出したりするグループ活動を設定することで、自分の考えを伝える、自分と友達の考えを比較する、折り合いを付けて一つの答えを導き出すなど人とやりとりする経験が積み重なり、人間関係の構築やコミュニケーション能力の向上につながるのではないかと考える。

(3) 指導について

<学んだことを次の学びにつなげる力を育むために>

- ・単元の構成を①予想する、②確かめる、③まとめる、の流れを繰り返す。
- ・基本的に一単位時間の学習活動の流れを①自分で考える、②グループで意見交換する、③グループの意見をまとめ発表する、の流れにする。
- ・振り返りの内容を充実させることが出来るよう友達の意見を聞いたり、互いのグループを伝え合ったりする機会を設定する。

<学んだことの定着・活用を図るために>

- ・学んだことを活用できるように、既習事項を確認する活動やこれまで学習したことをシートや表にまとめる機会を設定し、教室に掲示したり個別にファイリングをしたりする。
- ・自分の考えを整理しながら学習を進められるように、なぜそう考えたか理由を具体的に尋ね、文章化での表現を促す。また、考えを深めることが出来るよう、生徒のつぶやきを周囲に伝えたり、つないだりする。

<学んだことを全員で共有できるように>

- ・仕事について気付いたり調べたりしたことを全員で共有することが出来るように、働いている人にインタビューをしたり、働いている場を実際に見たりする機会を設定する。

3 単元目標 知: 知識及び技能 思: 思考力・判断力・表現力等 学: 学びに向かう力・人間性等

- (1) 映像を見たり、調べたりする活動や体験活動を通して、様々な仕事があることを知る。知
 (2) 仕事について予想したり、調べたりする活動を通して、グループの友達とやりとりしながら気付いたことや考えたことを言葉にしたり、書いたりして伝える。思
 (3) 様々な仕事への興味や仕事について知りたいという気持ちをもつ。学

4 単元計画 (総時間数 22 時間 / 本時 13・14 時)

時	学習内容	学習活動	育成を目指す資質・能力 (知 思 学)
1 ・ 2	・様々な仕事があること の理解 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア) 国A聞くこと・話すこと エ、オ	給食のカレーライスはどう にできているのかを考えよう ・給食のカレーライスがどのよ うな食材や物からできており、ど のような仕事をしている人た ちが関わっているのかを考え たり、映像を見て知ったりす る。 ・グループで話し合っ て予想した仕事を出し合う。	・一つのは多くの人 の仕事によってでき ていることを知る。 知
3 ・ 4	・自分の意見の伝え方 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア)(イ) 国A聞くこと・話すこと エ、オ	仕事を3つの種類に分けて みよう ・前時で知った仕事を「つ くる仕事」「人と関わる 仕事」「運ぶ仕事」などのカ テゴリに分け、まとめる。 ・グループで話し合っ て仕事をカテゴリ分けし、 発表する。	・仕事を大まかに分 類できることを知る。 知 ・自分の考えを友達 に話したり、友達の考 えを聞いたりしながら、 グループで考えたカ テゴリ分けをし、資 料にまとめる。 思
5 ・ 6	・予想の立て方と文章 化 ・話し合いの仕方 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア) 国A聞くこと・話すこと エ、オ	学校ではどのような仕事 をしている人がいるのか予 想しよう ・本校でどのような仕事 をしている人がいるのか 予想する。 ・グループで話し合っ て予想した仕事を発表 する。	・自分の考えを友達 に伝えたり、友達の考 えを聞いたりしながら、 グループで予想した 仕事を資料にまとめる。 思
7 ・ 8	・予想したことの確か め方 ・相手との適切な関 わり方 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア) 国A聞くこと・話すこと エ、オ	学校ではどのような仕事 をしている人がいるのか 予想しよう ・グループごとに、確 かめたいことや質問す る際に気を付けること などを整理する。	・自分の考えを友達 に伝えたり、友達の考 えを聞いたりしながら、 次時で確かめたい内 容や気を付ける点を グループで考える。 思
9 ・ 10	・校内の仕事について 実践的な知識の獲得 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア)(イ)	学校ではどのような仕事 をしている人がいるのか 知ろう ・校内で仕事している 人たちを見たり、質 問したりして、様 々な仕事を知る。	・学校で仕事をして いる人の職名や仕事 内容を知る。 知 ・校内の仕事に興 味をもつ。 学
11 ・ 12	・仕事について分か ったこと の文章化 ・意見のまとめ方 職・家(職) Cイ 社エ(ア) 国A聞くこと・話すこと エ、オ	学校ではどのような仕事 をしている人がいるのか 知ろう ・知った職名や仕事 内容を整理してまと める。	・自分の考えを友達 に話したり、友達の考 えを聞いたりしながら、 分かったことを資料 にまとめる。 思
13 ・ 14	・予想の立て方と文章 化 ・話し合いの仕方 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア)(イ) 国A聞くこと・話すこと	スーパーマーケットでは どのような仕事をして いる人がいるのか予 想しよう ・スーパーマーケット ではどのような仕事 をしている人がいる のか	・自分の考えを友達 に伝えたり、友達の考 えを聞いたりしながら、 グループで予想した 仕事を資料にまとめる。 思

	エ、オ	予想する。 ・グループで、予想した仕事を発表し合う。	
15 ・ 16	・スーパーマーケットの仕事について実践的な知識の獲得① 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア)(イ)	スーパーマーケットではどのような仕事をしている人があるのか知ろう ・スーパーマーケットで仕事している人たちを見て、様々な仕事を知る。	・スーパーマーケットで仕事をしている人の職名や仕事内容を知る。【知】 ・スーパーマーケットの仕事に興味をもつ。【学】
17 ・ 18	・分かったことやさらに知りたいことの文章化 ・意見のまとめ方 職・家(職) Cア、イ 国A聞くこと・話すこと エ、オ	スーパーマーケットではどのような仕事をしている人があるのか知ろう ・知った職名や仕事内容を整理してまとめる。 ・グループごとに、さらに知りたいことを整理する。	・自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、グループで資料にまとめたり、知りたいことを考えたりする。【思】 ・スーパーマーケットの仕事について知りたいという気持ちをもつ。【学】
19 ・ 20	・スーパーマーケットの仕事について実践的な知識の獲得② 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア)(イ)	スーパーマーケットではどのような仕事をしている人があるのか知ろう ・スーパーマーケットで仕事している人に質問し、仕事についてさらに詳しく知る。	・スーパーマーケットの仕事について、疑問点を明らかにし、さらに詳しく知る。【知】 ・スーパーマーケットの仕事についてイメージしようとする。【学】
21 ・ 22	・既習事項を基にした自分の考えの文章化と発表の仕方 職・家(職) Cア、イ 社エ(ア)(イ) 国A聞くこと・話すこと エ、オ、B書くことア	いろいろな仕事を知って、感じたことや考えたことを伝えよう ・これまでの学習を振り返り、学校やスーパーマーケットの仕事の中から興味のある仕事について発表する。 ・今後、仕事についてもっと知りたいと思ったことを書く。	・学習した様々な仕事をイメージし、将来の自分や今後の生活と結び付けながら感想を書いたり、発表したりする。【思】 ・様々な仕事に興味をもったり、興味のある仕事に気付いたりする。【学】

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近な学校やスーパーマーケットでは、多くの人たちが仕事しており、様々な仕事内容があることを理解している。	・グループの友達に自分の考えや気付いたことを言葉で伝えている。 ・友達の考えを聞きながら、グループとしての意見をまとめて資料に表現している。	・様々な仕事に興味をもち、仕事している人や仕事内容をイメージしようとしたり、調べようとしたりしている。 ・どのような仕事に興味があるのか気付き、将来の生活について前向きに考えようとしている。

6 本時の計画 (21 時中の 13・14 時)

(1) 本時のねらい

- ①スーパーマーケットの店内をイメージしながら、仕事をしている人を予想する。 **思**
- ②グループの友達と予想した仕事を伝え合い、グループの資料に意見をまとめる。 **思** **主**

(2) 児童生徒のねらいと手立て (対象生徒部分は太枠で囲む)

No.	氏名・性別	実態	個別のねらい	手立て
1	A	<ul style="list-style-type: none"> 外出の経験が少ない。 自分の間違いや失敗を受け入れるのが苦手である。内容が分からなくなるとうつむく、寝るなどの行動をとる 話合いの内容によっては、進行役に意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 店内配置図の「鮮魚」「精肉」の言葉から、魚や肉に関する仕事をしている人をイメージし、予想したことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 予想できるように、店内配置図を基に「この辺に仕事している人はいると思う？」など言葉を掛ける。 自信をもって書けるように、特に書き始めは称賛し、肯定的な言葉を掛ける。
2	B	<ul style="list-style-type: none"> インターネットによる知識はある。 学習態度など、その場にふさわしくない態度をとることがある。 考えることが苦手だが、体を動かしたり、友達と話し合ったりする活動は意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合いのルールを意識し、自分の書いた付箋について、詳しく説明しながら友達に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し方のルールを提示したり、話合いの約束を伝えたりする。
3	C	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仕事があることが何となく分かっており、仕事の学習に関心をもっている。小学校で学習したことと結び付けるときがある。 控えめで、自分から話すことは少ないが、ポイントをしばって発問すると、自分の考えを話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 店内配置図を参考に実際に見たことのある仕事をしている人を想起し、付箋の「___人」の欄に予想して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 抵抗なく書き始められるように、あらかじめ付箋に「___人」を書いておく。 自分の考えを整理できるように、予想したことや気付いたことを称賛し、さらになぜそう思ったのか発問する。
4	D	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや知っていることについて伝えることができる。 理由を添えて話すことや経験をまとめることが苦手である。 言葉の意味や学習内容の理解が不十分なことがあるため、個別に確認する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「鮮魚」や「青果」などの売り場のキーワードやイラストから、どのような仕事をしている人がいるのかイメージする。 	<ul style="list-style-type: none"> 行ったことのあるスーパーマーケットについて質問する。 スーパーマーケットの店内配置図の漢字を参考に考えるよう促す。
5	E	<ul style="list-style-type: none"> 身に付いている知識の中から答えを導き出そうとするが、経験不足により知識に偏りがある。 伝え方が分かると、自分の考えを積極的に伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループの話合いで、全員の付箋を似ている意見ごとにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進め方の見通しをもてるように進行表を提示する。

6	F	<ul style="list-style-type: none"> ・経験不足から知識が乏しく、知らない言葉も多い。自信がなく、考えを書くまで時間を要することがある。 ・自分から考えを話すことは少ない。教師が発問すると、自分の考えを述べたり、友達に理由を尋ねたりすることが増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの進行表を手掛かりに、付箋に書いた仕事について理由を添えて伝えたり、友達の考えを聞いたりして、付箋を貼りながら似ている意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いを進められるように、進行役とし、進行表を準備する。 ・付箋を集めたり、資料にまとめたりしやすい配置にする。
7	G	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は清掃や介護の仕事がしたいとよく話す。進路の勉強で、仕事や将来の生活を知りたいと意欲的である。 ・自信がなく、自分から話すことは少ない。友達の意見にあいづちを打っていることが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・店内配置図の場所を手掛かりに自分で予想したことを、すぐにメモし、メモを活用して言葉や文で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想したことを記憶に留めて、自信をもって書くことができるように、キーワードになりそうな言葉でもすぐに書くよう伝えたり、考えを聞き取り、一度言葉にして整理する時間を設けたりする。
8	H	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を概ね理解し、仕事に関する学習には関心をもっている。 ・発言力があり、自分の考えを積極的に述べる。話合いでは効率よく話合いを進めたい思いが強く、一人でどんどん進めてしまう傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの店内配置図を見て部門ごとにどのような仕事をしている人がいるのか考え、付箋に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・店内配置図を提示し、予想していない部門についてどのような人がいるか想像する時間を設ける。

(3) 学習過程

時間 (分)	学習活動	教師の働き掛け、指導上の留意点 困み部分はねらいに対する手立て
12	1 アイスブレイクを行う。 2 本時の学習を知る。 ①めあて：スーパーマーケットでは、どのような仕事をしている人がいるのか予想しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張感を和らげ、コミュニケーションをとりやすくするために、友達同士で関わり合える活動を設定する。 ・今日の学習活動に見通しがもてるように、一単位時間の流れやめあてを提示する。 ・「スーパーマーケット」をイメージし、全員でイメージを共有できるように、知っているスーパーマーケットについて尋ねたり、店内にはどのような部門があるのかを確認したりする。

15	展開	3 スーパーマーケットで仕事をしている人について自分で予想する。	<ul style="list-style-type: none"> ・予想した仕事や理由を覚えておけるように、付箋に書き、ワークシートに貼るよう説明する。 ・スーパーマーケットで仕事をする人を想起できるように、「青果」「鮮魚」などのキーワードとなる言葉やイラストが入った店内配置図を準備する。 ・既習事項を思い出したり、活用したりすることができるように、これまでの資料を掲示しておく。また、予想する際に既習プリントを手掛かりにするような言葉がけをする。 ・理由を考えて書くことができるように、適宜理由を尋ねたり、生徒が答えたことやつぶやきを肯定的に捉えてそれを書くよう促したりする。 ・書き進めることが難しい生徒がいた場合には、どこで仕事をしているかなど場所に注目できるような質問をしたり、「精肉部門ではどのような仕事をしていると思う？」などの発問をしたりして気付きを促す。 ・自分で予想したことに自信をもてるように、気付いたことへの称賛や共感の言葉を掛ける。 ・T2はDに対して、個別に学習活動の理解の確認や必要に応じて具体的な説明をする。 ・T1はA、C、F、Gのグループ、T2はB、D、E、Hのグループを中心に見届ける。
30		4 グループで考えを伝え合い、意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動がスムーズに進むように、進行役を決め、進行表を準備する。また、話し合いのルールとして「一人一回は発言する」「理由をつけて話す」を提示する。 ・グループの実態に応じて、付箋を出し合う進め方、または教師がメモをとってまとめていく進め方にする。 ・生徒同士のやりとりの状況に応じて、肯定的な言葉を掛けて称賛する。また、適宜、理由を尋ねて考えを深めたり、グループ全員が共有できているか確認したりする。
10 8	まとめ	5 互いのグループの意見を見合う。 6 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのグループの考えを比較したり、予想した仕事を全員で共有したりすることができるように、グループでまとめた資料を掲示し、同じ意見・異なる意見があるかどうか気付けるような言葉がけをする。 ・今日のめあてを振り返り、確かめたいという気持ちを高めることができるよう、予想できたか問い掛けたり、感じたことや次の授業に向けて考えたことなどを書いたりする時間を設ける。

(4) 評価

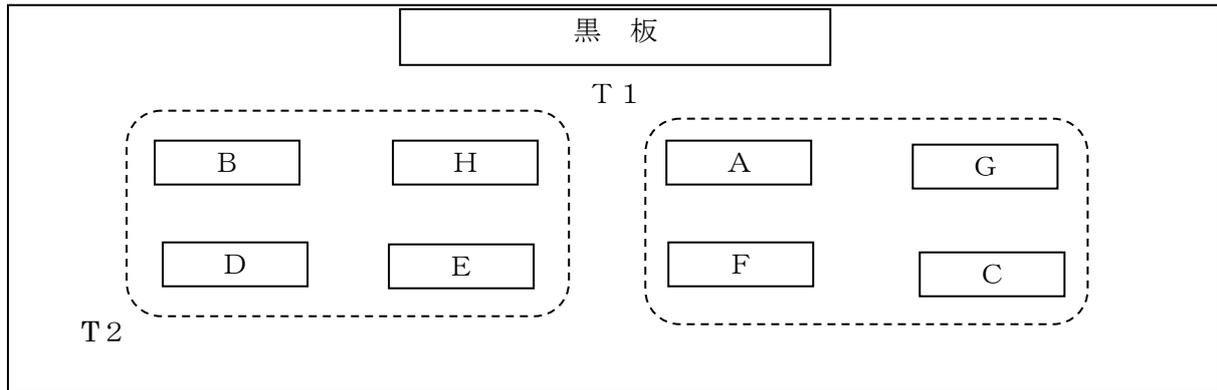
<生徒の評価>

- ・スーパーマーケットで仕事をしている人を予想し、「〇〇している人」や理由を付箋に書いていたか。
- ・予想した仕事や理由を友達と伝え合い、グループの店内配置図に付箋を貼ったり、まとめたりしていたか。

<教師の手立ての評価>

- ・スーパーマーケットを想起できるような教材の準備や提示、言葉掛けができていたか。
- ・話し合いを進めやすい状況づくりや自分の考えを表現できるような発問や支援ができていたか。

(5) 店内配置図



- ・ T 2 は、主に D の側に配置し、適宜学習の理解の確認をする。
- ・ 学習活動 4 では、{ } のグループに分かれる。